

ちゅうじつ 忠実な フレッド

むかし ちい けい けい まち
昔、ある 小さな 農業の 町に、フレッドという
しょうねん
少年が いました。フレッドは 10 歳で、
ひとり こ ども おとな まち
一人っ子でした。子供も 大人も、町じゅうの
ひとたち げん き しょうねん かんしん
人達が、この 元気いっぱいの 少年に 感心して
いました。彼は、いつも よろこ ひと たす
に、いつも 喜んで 人の 助けに
なろうと していたからです。お父さんは
まち しょくりょうざっ か てん けいえい
町の 食料雑貨店を 経営していて、フレッドは
みせ てつだ
店の 手伝いも よく していました。

フレッドには、とても かわいがっている
ネコが いました。お父さんが 用事で 店を
る す 留守にし、お母さんも 家の ほうに いて、
フレッドが 店番をする時、話し相手は
ネコの フラッフィーくらいしか いません
でした。フラッフィーは、みせ
走り回っては、店じゅうを
はし まわ 虫を つかま
え ました。時には、フレッドも いっしょに
はし まわ あそ 遊びました。もちろん、だれも
きゃく いない 時に。



ある^{なつ}夏の^ひ日の^{ゆうがた}夕方のこと。フレッドの
お父さんは、品物を仕入れるために^{ちか}近くの
町へ^{まち}1日中^{にちじゅう}出かけていました。フレッドは、
まだ^{まだ}他の^{ほか}少年達^{しょうねんたち}が^{あそ}遊んでいるのを
ながめていました。

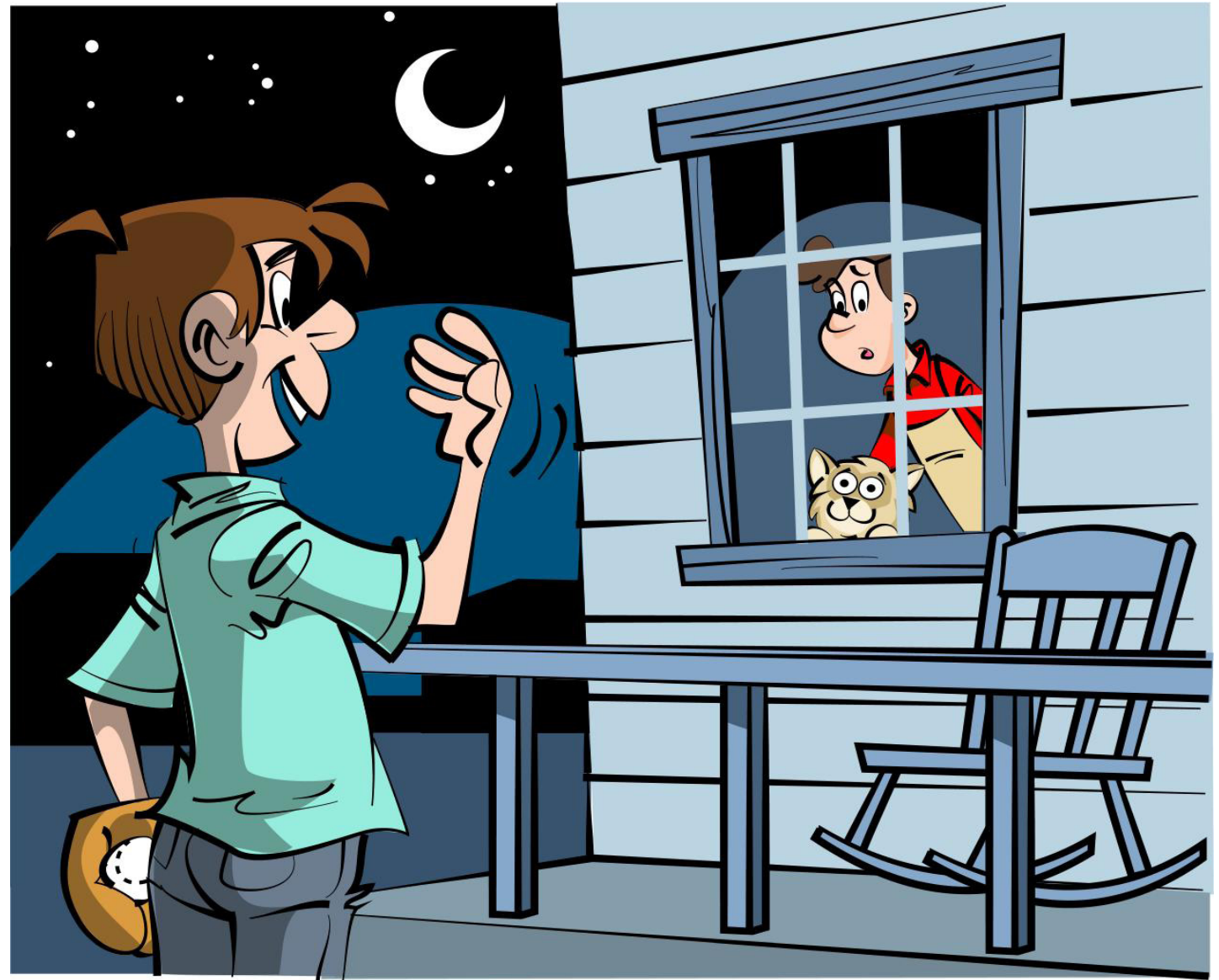
「来いよ、フレッド。いっしょに^{あそ}遊ぼう。」
友達^{ともだち}のエイブが^よ呼びました。

「それが、だめなんだよ。」と
フレッドが^{こた}答えました。「お父さんが
帰^{かえ}るまで、店番^{みせばん}してなきゃ いけないんだ。
でも、さそってくれて ありがとう。」

「いいじゃ ないか。」と エイブ。
「おまえが^{みせ}店に^いなくなつて、お父さんには
わ^わかりっこ ないさ。それに、お客さんだつて、
もう^{ぶん}20分も^き来てないじゃ ないか。」

フレッドは ちょっと^{かんが}考えて、頭^{あたま}を
ふりました。「悪いけど、今は^{いま}いっしょに
あそ^{あそ}びに^い行けないんだ。ぼくが ちゃんと
みせばん^{みせばん}してるって、お父さんが^{しんらい}信賴して
くれてるからね。」

「好きにしろよ。」 エイブは つぶやき
ながら、他の^{ほか}少年達^{しょうねんたち}と いっしょに^い行って
しまいました。



フレッドが^{いき}ため息をつきながら^{かえ}ふり返ると、お店の^{みせ}裏口^{うらぐち}に お父さんが^た立っていました。「お帰りなさい、
お父さん。」 フレッドは にっこりしました。

「ただいま、フレディ。」 フレッドが ハグを^とすると、お父さんが^{こた}答えました。

「早く 帰^{かえ}れて 良^よかったよ。」と お父^{とう}さんが 言^いいました。

「ちょうど、おまえが エイブと 話^{はな}してるのが 聞^きけたし。
友^{とも}達^{だち}と 遊^{あそ}ぶ 代^かわりに 店^{みせ}番^{ばん}を して^らいるのが 楽^{らく}じゃ ないのは、
百^{ひゃく}も 承^{しょう}知^ちだ。心^{こころ}の 内^{うち}で 正^{ただ}しいと 分^わかっている こと^{こと}をし、
責^{せき}任^{にん}を 果^はたすために 正^{ただ}しい 選^{せん}択^{たく}を した^{した}こと^{こと}で、おまえを
誇^{ほこ}りに 思^{おも}うよ。」

フレッドは、とても うれしく なりました。お父^{とう}さんが
ほめてくれると、いつも 幸^{しあわ}せな 気^き分^{ぶん}に なります。

「家^{いえ}まで ひとっ走^{はし}りして、母^{かあ}さんに わたしが もどった
こと^{こと}を 伝^{つた}えたら、友^{とも}達^{だち}と いっしょに 遊^{あそ}びに 行^いって
いいぞ。」と お父^{とう}さんが 言^いいました。「店^{みせ}は 父^{とう}さんが
見^みるから。」

フレッドは 大^{おお}喜^{よろこ}びで、家^{いえ}に 走^{はし}って 行^いきました。

フレッドは、とても 貴^き重^{ちよう}な 教^{きよう}訓^{くん}を 学^{まな}びました。責^{せき}任^{にん}は、
最^{さい}後^ごまで きちん^はと 果^{さい}た^{ぜん}す^{ぜん}のが 最^{さい}善^{ぜん}だ^{ぜん}と いう^{いう}こと^{こと}です。
た^とえ^え その^{とき} 時^{とき} だれ^みも 見^みてい^おない^おと 思^{おも}って^こも、心^{こころ}の 中^{なか}では、
神^{かみ}様^{さま}が いっ^みつも 見^みてお^じられ、自^じ分^{ぶん}の 行^{おこな}い^{おこな}は すべ^{かみ}て 神^{かみ}様^{さま}に
お^み見^と通^おし^わだ^わと、フレッドには 分^わか^わって^わいま^わした。そ^それ^れが、
正^{ただ}しいと 知^しっている こと^{こと}を 選^{せん}択^{たく}さ^させて^さて^さくれる^るの^のです。

